

アカアシクワガタ 丹波地方での記録

大塚剛二

アカアシクワガタが丹波地方で始めて確認されたと
思われるので報告する。

1960年代前半に但馬の扇ノ山, 畑ヶ平の川沿いの柳
の木で数回採集した記憶があるがそれ以後出会って
いなかった。今回, 篠山市火打ち岩 鏝市ダム (北緯 35 度
06 分 32 秒, 東経 135 度 16 分 19 秒, 標高 357 m) で
2年連続ライトトラップに飛来したものを採集した。

スギ, ヒノキ, アベマキ, コナラなどが混在する雑
木林で池の周りに 1 本の大きな柳が生えている。上流
から流れ込む小川がありムカシトンボ, キベリハムシな
ど危惧種も生息する。

1 ♀, 19. VIII. 2017. 逢澤 仁

1 ♀, 21. VII. 2018. 大塚剛二

どちらもライトトラップ, 午後9時ごろに採集. 大塚分は飼育中。

○参考文献

山本義丸, 1958. 兵庫県水上郡昆虫目録, 水上の自然
第3集. 兵庫県立柏原高等学校生物教室。

(Gōji ŌTSUKA 兵庫県篠山市)



図1 筆者が飼育中の篠山市産アカアシクワガタ。



図2 鏝市ダムの上流の池。台風の被害で土砂が流れ込ん
だが柳が辛うじて生き残っている。

神戸市東灘区にてフタモンクモバチを採集

上森教慈

フタモンクモバチ *Parabatozonus jankowskii*
(Radoszkowski, 1887) はメスの体長が 20-30mm ある大
型のクモバチで, 顔面両側の縦斑と腹部第3背板基部
の帯斑は黄色から橙黄色であることが特徴である。本種
は環境省レッドリストの準絶滅危惧種に指定されており,
また近隣の京都府でも準絶滅危惧種に指定されている。
本種の狩猟対象であるオニグモの減少が本種の減少の原
因だと考えられている (京都府, 2015)。

筆者は今回, 神戸市東灘区甲南台にて本種を採集し
たので報告する。本個体は登山道入り口付近の路上で死
んでいた。周辺では 1937 年に神戸市山田で採集された
記録がある (宝塚市教育委員会, 2004)。



図1. フタモンクモバチ

1 ♀, 27. VIII. 2018, 筆者採集・保管

○参考文献

環境省, 2018. 環境省レッドリスト 2018.

京都府, 2015. 京都府レッドデータブック 2015. 京
都府環境部自然環境保全課 (<http://www.pref.kyoto.jp/kankyo/rdb/index.html>).

宝塚市教育委員会, 2004. 宝塚の昆虫7. 229-230p.
宝塚市。

寺山 守・須田博久 (編), 2016. 日本産有剣ハチ類図鑑.
v-xxxvi + 735pp. 東海大学出版部, 神奈川。

(Kazushige UEMORI 九州大学農学部)